
今日 の 力

2025年3月10日 ～ 3月16日

翻訳 阿部 やよい

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています
※翻訳・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

3月10日（月）

試練に耐える

聖書朗読 ペテロの手紙 第一 5：6～11

私たちがあなたがたについて抱いている望みは、動くことはありません。なぜなら、あなたがたが私たちと苦しみをもとにしているように、慰めをもとにしていることを、私たちは知っているからです。 コリントⅡ 1：7

昨日、私は一日中、試練と戦っていました。そして何とか耐え抜きましたが、これが主のために、そして主と共に苦しむということなのでしょう。苦しかったのは、私に何が起きているかを知っていることでした。

これをどうお伝えすればよいでしょう。私は、善と悪という相反する二つの影響力に挟まれていました。善は神の御霊、そして悪は、私に罪を犯させようとするサタンの耳打ちでした。

昨日の試練は、今日の私に喜びをもたらしました。聖霊の助けによって、私は勝利を手にすることができました。しかし、サタンがイエス様にしたように、サタンは頃合いを見計らって再び現れるのです。（ルカ 4：13、コリントⅡ 2：11）

私は、常に備えていなければいけません。試練は忍耐を、品性を、そして希望をもたらします。（ローマ 5：4）私の神に対する信仰は、今日少し強くなりました。主よ、感謝いたします！

私の兄弟たち、さまざまな試練に会う時は、
それをこの上もない喜びと思いなさい。信仰がためされると、
忍耐が生じるということを、あなたがたは知っているからです。
ヤコブ 1：2～3

讃美歌 399 なやむものよ とく立ちて

祈り 親愛なるご在天の父、降りかかる試練に感謝いたします。これらの試練がなければ、私はあなた様のみこころを知ることはできなかったでしょう。イエス様の御名によって。アーメン。

コロラド州 キャノンシティ / ロン・グロース

3月11日（火）

家までの切符

聖書朗読 ヨハネの黙示録 21：1～5

私は今や注ぎの供え物となります。私が世を去る時はすでに来ました。

テモテⅡ 4：6

10月下旬のある晴れた日、障害を持つ友人から電話がありました。電話に出ると、電話の向こう側から「家までの切符を手に入れたわ！スゴイでしょ。」と息を弾ませた元気な声が聞こえてきました。色々訊いていくうちに、友人は今入院しており、医者から余命3か月と告げられたばかりだということがわかりました。

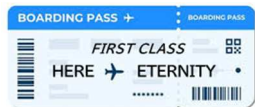
彼女と私は14年前に聖書勉強会で知り合いました。彼女は若い頃の交通事故が原因で半身不随になっていました。彼女は痛みのない日を待ち望んでいました。そして、彼女は神とイエス様を愛し、ともにいることを心から望んでいました。ですから、医者から余命のことを聞いた時、長く待ち焦がれていた永遠の住まいにもうすぐ行けることを知って、喜びに満たされたのです。

神を信じイエス様を信じる私たち全てのために用意された家があります。その家で神は私たちと共に住まれ、そこには叫びも苦しみもなく、すべてのものが新たにされると、神は私たちに約束しておられます。ですから、この希望を胸に、イエス様から決して目を離さずに、「よく頑張りました。これがあなたの家までの切符です。」というお言葉を待ちましょう。

讃美歌 355 主を仰ぎ見れば

祈り 親愛なる主よ、この世で暮らしながら、あなた様がおられる家に帰ることを待ち望みます。それまでは、あなた様とあなた様の約束を周りの人に広められるようお助けください。私がこの世を去る時が来た時、「家までの切符を手に入れたよ！」と喜びの声をあげられますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

インディアナ州 ラ・ポート / シェリル・ベイカー



3月12日（水）

懐かしのメロディ

聖書朗読 詩篇 125篇

御霊に満たされなさい。詩と賛美と霊の歌とをもって、互いに語り、主に向かって、心から歌い、また賛美しなさい。
エペソ 5：18～19

“懐メロ”、私が10代のころに流行った歌を覚えています。アマチュアバンドのメンバーだった高校時代の友達を思い出させる歌もあれば、美しい山でキャンプファイヤーをやった教会のキャンプを思い出させる歌もあります。あなたの心に思い浮かぶ歌は何ですか。神は私たちをお創りになる時、私たちに、歌を作り、歌うための脳と心を備えられました。

詩篇は讃美歌です。それらの歌は、イスラエルの人々を危険から助け出した神の大神能のはたらきを思い出す助けとなっています。たった一つの讃美歌によって、あなたの血圧に変化があったり、あなたの人生における神のはたらきを思い出したり、喜びの笑顔をもたらされたりすることがあるかもしれません。礼拝で初めて《おおいなる神》*（*編注：1980年代後半のアメリカでよく歌われた基督教のコンテンポラリー・ワーシップソングのひとつ）を歌った時のことを覚えています。この讃美歌を歌うことで私は強くなりました。また、病気の時や家族を失ったとき《主のまことはくしきかな》*（*編注：讃美歌Ⅱ 191）を歌ったことも覚えています。讃美歌は私たちにとって欠かせないものです。

毎年のエルサレムへの道中、それぞれの家族は《都上りの歌》（詩篇120篇～134篇）を歌いました。神について彼らは本当に多くのことを思い出すことができます。

『山々がエルサレムを取り囲むように、主は御民を今よりとこしえまでも囲まれる。』孤独や不安を感じたら、詩篇125篇の讃美歌を歌ってみましょう。あなたの心は強められます。主があなたを囲まれるというのは真実です。

讃美歌 301 山べにむかいてわれ

祈り お父様、あなた様が囲われている手のおかげで、私たちはいかなる状況でも安心していられます。今日あなた様を信じます。あなた様へのご奉仕が続けられますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

編集者 スティーブンス・レムリー

3月13日（木）

私を覚えていなさい

聖書朗読 ルカの福音書 22：1～19

それから、パンを取り、感謝をささげてから、裂いて、弟子たちに与えて言われた。「これは、あなたがたのために与える、わたしのからだです。わたしを覚えてこれを行いなさい。」
ルカ 22：19

親しい友人が私の肩に手を置いた時、朝の礼拝後で礼拝堂には誰もいなくなっていました。振り向くと、彼女は泣いていました。そして優しい声で言いました。「今日は、昔、父が危うく命を落としかけた交通事故にあった日なの。」その事故のせいで、彼はその後40年もの間、精神的にも肉体的にも不自由な生活を強いられました。「今までは教会に来る気になれなかったの。でも、今日は、私の父を覚えている人にぜひとも会いたいと思って来たの。」と彼女は教えてくれました。家族全員が彼を愛し、大事故後の彼の生活を献身的に支えていたのを思い出しました。彼は愛されていて、かけがえのない存在であって、彼なりの方法で家族の一員として日々の家族生活に参加するように求められていました。

そう、思い出しました！彼は事故の前も後もとても愛すべき人でした。彼についての思い出を語っている時に友人がした質問が私の心に残りました。「私たちが教会に来たのはそのためじゃないかしら。一緒に思い出すために。」そうです、私たちはイエス様を思い出すために集まるのです。

私たちは、イエス様がここにおられたことを、イエス様が今ここにおられることを、そしてイエス様がまた戻ってこられることを、お互いに確認し合いたいのです。「イエス様を覚えます！」と心からお互いに言い合いましょう。私はイエス様を最初に信じたときのことを覚えています。私はイエス様が私をどのように支えてくださったかを覚えています。イエス様の再臨の約束を私は信じます。

聖歌 428 とうとき泉あり

祈り お父様、御子がこの地に来られ、そして私たちのもとに来てくださったことを覚えます。この真実を、今日を覚えていたい誰かに伝えることができま
すように。イエス様のお名前によって。 アーメン。

編集者 エミリー Y・レムリー

3月14日（金）

神のかたち

聖書朗読 創世記 1：26～27

というのは、すべてのことが、神から発し、神によって成り、神に至るからです。どうか、この神に、栄光がとこしえにありますように。アーメン。 ローマ 11：36

「幸せな世捨て人などいません。つまり、一人ぼっちで幸せな人はいない。なぜなら神がお互いを必要とする社会的な存在として創造されたのだ。」とポール・フォクナー博士*は記しています。（*編注：アビリーン・クリスチャン大学の教授・説教者・カウンセラー・作家。1929-2022）使徒パウロは、『すべてのことが、神から発し、神によって成り、神に至るからです。どうか、この神に、栄光がとこしえにありますように。アーメン。』と記しています。（ローマ 11：36）私たちは、神から発し、神によって成り、そして神に至るものの一部なのです。もし神が財布をお持ちなら、その中には私たちの写真が入っていることでしょう。（編注：財布の中に愛する者の写真を入れて持ち歩く人が多い。）あなたは神のかたちに造られました。なんとすばらしいことでしょう！

ローマ11章でパウロは神の偉大さについて記しています。すべてのことが（あなたも私も）神から発しています。大きな愛と力によって、私たちの想像を超えるほどに、神は私たちを守ってくださっています。なぜでしょうか。一人ぼっちで幸せな人はいないからです。神は人を神のかたちにお造りになられ、愛し、選び、考える力を私たちに授けました。そのために、一日の終わりに、私たちの行いゆえに神の日が祝福され、神に喜んでいただくこともできるのです。

パウロは『栄光がとこしえにありますように』と書いています。私たちがこれに対してすべきことは、神の栄光を現わすことです。神の栄光と私たちができることでは比べものになりませんが、素晴らしいことに、私たちが神の栄光を現わす時、神は私たちの愛、従順、賛美を喜んでくださいます。神は栄光をお受けになります。

讃美歌 2 いざやともに

祈り お父様、あなた様とともに過ごすことができ、私の日々は祝福されています。私はあなた様を知り、愛し、あなた様と共に歩むように造られました。私の人生を通して、あなた様が栄光をお受けになれますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

オクラホマ州 ベサニー / ビル・アドコックス

3月15日（土）

仲良くやっていく

聖書朗読 創世記 13：5～18

あなたがたは、自分に関する限り、すべての人と平和を保ちなさい。

ローマ 12：18

子供の名前で親が揉めているというのを聞いたことはありませんか。かなりよくある揉め事だと思うのですが。ジョン&マーサ・トルーマンも男の子を授かった時、ミドルネームをどうするかで揉めました。そして結局はミドルネームをSにすることで落ち着きました。

そのため、ハリー S・トルーマンは唯一のミドルネームがイニシャルだけのアメリカ合衆国大統領となりました。このよくある小さな家族紛争は合理的解決を迎えました。

争いは家族や友人間でも起きます。それは大きいものもあれば、小さいものもありますが、重要なのは、それを解決することです。神は私たちが他の人と平和に過ごすことを望んでおられます。アブラムの家畜の牧者たちとロトの家畜の牧者たちの間にも争いがありました。両方とも同じ地に住もうとしましたが、その土地は一緒に住むのには十分ではありませんでした。

アブラムは平和を望み、そして解決策を提案しました。それは、争いが起きたら、逃げてはいけない、解決策を共に探し、時に謙虚に、そして率直に合理的な計画を話すだけでよい、という貴重な教訓となりました。大きなことにでも、小さなことにでも、なによりまず私たちは平和を求めましょう。

讃美歌 403 神によりて いくつしめる

祈り 親愛なる主よ、友人や愛する人は私たちにとって大切な人たちです。彼らを大切にしている宝物として扱うことができますように。彼らと共に平和に過ごし、彼らに愛とやさしさを示すことができますように。イエス様のお名前によって。アーメン



テネシー州 ナッシュビル / ポール・デアティ

3月16日（日）

もっとうまくやりたいですか

聖書朗読 出エジプト記 18：13～27

わが子よ。私の知恵に心を留め、私の英知に耳を傾けよ。これは分別を守り、あ

なたのくちびるが知識を保つためだ。

箴言 5：1～2

私たちは、もっとうまくやりたい、もっと良くなりたいとよく言いますよね。でも、そのための良い習慣を身につけるのは、やりがいはありますが、難しくて途中で諦めてしまうこともよくあります。パウロの書簡は、私たちはまだ成長途中であると教えてくれています。ですから、私たちがキリストにあって成長し変わっていけるよう、聖書と教会の家族に助けてもらいましょう。

他の人の助けを受けるために心を開くとき、みんなが得をすることができます。家計を、祈りの習慣を、健康を改善するために心を開くとき、私たちは成長します。私たちが礼拝するために集まるとき、自分の態度を改め、お互いの話を聞き、互いに助け合い、お互いをいたわりあい、そしてキリストにあって支え合う兄弟姉妹になることができます。

民に神のおきてとおしえを知らせることに忙殺されている義理の息子モーセに助言したイテロのように、私たちも賢く働くことができます。イテロは、重荷を分け合い、助けを受け入れるようモーセに助言しました。イテロの助言を受け入れたモーセによって、民全体が恩恵を受けました。

神のみことばは、朽ちることのない助言の源です。（テモテⅡ 3：14～17）喜んでみことばをいただき、成長し変わっていきましょう。

聖歌 500 みことばなる ひかりのうち

祈り 我がご在天のお父様、自分だけで考え過ぎて、もっと良いやり方を示してくれている人々を受け入れない私をどうぞお赦してください。イエス様のお名前によって。アーメン。



テキサス州 ハイランド・ビレッジ / ラリー ケイン